

# 馬主だより

第77号

平成28年3月4日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

## ☆ 市単独開催後初 ばんえい競馬降雪により開催を中止

▼平成28年2月29日(月)ばんえい競馬帯広開催が降雪による悪天候のため中止となりました。当日、帯広市内では、朝から大雪警報が発令され、午前中激しく雪が降り続けました。関係者は早朝より開催に向け除雪作業に追われ、一旦は、開催する方向で準備を進めていましたが、開催時刻間際となり止む無く中止(代替開催なし。)を決断致しました。帯広市単独開催となった2007年度以降降雪での中止は初めてとなりました。▼ばんえい競馬では、過去に遡ると降雪による全レース中止は2003年1月4日と2007年1月7日の二度ありましたが、いずれも代替開催を行っています。▼もともと帯広市は道内でも比較的降雪量の少ない地域ですが、冬の終わり頃に発達した低気圧が50cm~100cmの湿ったドカ雪を降らします。▼ばんえい競馬で冬期間を含む通年開催が実施できるのは、1994年に設置した走路下のロードヒーティング設備があるからです。馬場の表面から約50センチ下に無数の管が埋め込まれ、冬期間は常時8台のボイラーが交替で稼働し60~70度に温められた不凍液が循環しています。このため凍結もなく通年で開催が出来るのですが、さすがに今回のようなドカ雪には対応が間に合いません。

平成27年度 ばんえい競馬 発売成績(総額)

開催141日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成28年2月29日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成27年度			平成26年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	141	1,346,315,100	1,330,064,900	141	1,405,410,300	101.22	95.80	
直営場外	旭川北彩都	141	741,737,600	763,211,000	141	865,339,200	97.19	85.72
	ミトスポット北見	141	332,377,900	318,479,200	141	339,624,000	104.36	97.87
	ハロンス岩見沢	141	229,804,100	240,599,600	141	258,103,500	95.51	89.04
	ハロンス釧路	141	103,610,000	96,325,900	141	107,339,700	107.56	96.53
	ハロンス名寄	141	104,490,900	98,381,200	141	125,240,600	106.21	83.43
	アプスポット網走	141	78,143,500	80,211,300	141	114,940,100	97.42	67.99
	琴似駅前	141	136,986,800	129,511,500	141	120,697,700	105.77	113.50
	イルムふかがわ	141	107,363,700	108,332,700	141	114,570,400	99.11	93.71
電投	オッズパーク	141	4,437,828,000	4,324,480,700	141	3,951,348,000	102.62	112.31
	OP(七重勝)	141	50,584,300	38,363,300	141	47,354,600	131.86	106.82
	OP(五重勝)	141	52,954,100	37,239,000	141	32,760,200	142.20	161.64
	競馬モール	141	3,566,165,000	3,219,757,000	141	2,643,425,600	110.76	134.91
	SPAT4	44	885,097,100	776,365,700	47	659,676,500	114.01	134.17
広域場間場外	—	1,298,271,400	1,245,780,600	—	1,282,002,400	104.21	101.27	
場外・電投計	—	12,125,414,400	11,477,038,700	—	10,662,422,500	105.65	113.72	
合 計	141	13,471,729,500	12,807,103,600	141	12,067,832,800	105.19	111.63	
1日平均		95,544,181	90,830,522		85,587,467	105.19	111.63	

平成27年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目~第24回6日目まで141日間)

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目~第24回5日目まで141日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成 27 年度第 5 回執行役員会 第 4 回理事会開催！

#### ～次年度陳情書 報償費増額 出走手当 4 万 5 千円を要請～

平成 28 年 1 月 16 日(土)当協会事務局会議室において、平成 27 年度第 5 回執行役員会を開催、理事会に先立ち執行役員に於いて意見調整を行いました。

当日、執行役員会終了後、午後から開催の第 4 回理事会に於いては、装蹄に係る特別な措置等技術料の有料化について、また、次年度ばんえい競馬に関する陳情書案の取り纏めについてなどの重要案件について審議致しました。

装蹄に係る措置については、これまで装蹄師のご厚意からサービス(料金無料)で行っていた個別の措置等について、今回、諸般の事情から、今後については蹄の健康保持・保護措置として有料化することを認めることと致します。その措置が必要となる場合は、必ず調教師を通じて馬主の了解を得てから処置され、その対価の支払いについては、調教師の責任に於いて精算する旨の通知を各会員宛てに周知する事になりました。

注：上記装蹄に係る措置等については、平成 28 年 1 月 22 日に既に会員宛て通知済みです。

次に陳情書については、昨年 12 月 11 日の不祥事案発生を受け、意識改革、法令遵守、信用失墜行為撲滅に向けて関係者全員がファンの信頼回復に取り組む体制づくりを提言。報償費については、安定的な競走馬の資源確保のため、出走手当が 1 開催 1 頭につき、1 出走目 45,000 円、2 出走目 25,000 円とし 1 着賞金最低 10 万円を支給するよう要請することとなりました。

また、当協会が帯広競馬場に於いて開設する平成 27 年度第 2 回臨時家畜市場については、2 月 23 日(火)釧路、翌日 24 日(水)は十勝の既設市場が開催される事もあり、上場頭数確保が困難であるとの判断から中止することで決定しました。

#### 【執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成 27 年度第 4 回理事会議案
- (3) その他
  - ① 今年度第 2 回臨時家畜市場中止について
  - ② 帯広市議会産業経済委員会委員との意見交換会について
  - ③ 平成 28 年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情日程調整

#### 【第 4 回理事会議事】

- |      |          |   |
|------|----------|---|
| 日程 1 | 報告第 1 号  | 競走馬弔慰金の給付額の決定について   |
|      | 報告第 2 号  | 不祥事案に係る再発防止策について  |
| 日程 2 | 協議案第 1 号 | 装蹄に係る技術料の設定について(通知案)  |
| 日程 3 | 協議案第 2 号 | 次年度ばんえい競馬に関する意見、要望、提言等について  |
| 日程 4 | その他      | <ol style="list-style-type: none"><li>① 代表理事会長の動向について</li><li>② 平成 27 年度内国産農用種雄馬購買馬決定</li><li>③ ユニバーサルドナーとしての活用について</li><li>④ 平成 27 年度第 2 回臨時家畜市場中止</li></ol> |

## ○ “平成 28 年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情”！！

### ～主催者へ競走馬の安定的確保のため出走手当増額を要請！～

平成 28 年 1 月 30 日(土)帯広競馬場開催執務委員長室において、平成 28 年度帯広市ばんえい競馬開催に関する諸事項について陳情を行いました。

特に出走手当については、年々少しずつ上がっているのは理解しておりますが、馬の価格高騰の影響から、これからも競走馬を安定的に確保していくためには、現行の出走手当をもう一段階上げなければ減少傾向に歯止めがかからず頭数確保が困難となる事が予測されることから、1 出走目の出走手当 4 万 5 千円を強く要請しました。

主催者としては、報償費全体のバランスを考慮すると、全て要望の金額に應えるのは難しいとしても、どの程度の金額が支給できるかについて、検討して頂く事になりました。

また、診療所の安定的な運営に向けて、獣医師確保の課題、次年度以降の補助事業継続と健全な財政運営のため、引き続き同様の補助金を主催者に求めました。

### 【平成 28 年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情項目】

1. 報償費支給基準
2. ファン信頼回復に向けた取組み
3. 薬物陽性馬の発生防止対策
4. 収支見通しの見直しとばんえい競馬の目指すべき方向
5. 診療所の安定的な運営に向けて

注：上記、陳情書の内容については、回答書と併せてお知らせ致します。

## ○ 平成 27 年度第 6 回執行役員会開催！

### ～平成 27 年度決算見込み及び 28 年度予算骨子を検討～

平成 28 年 2 月 28 日(日)当協会事務局会議室において、平成 27 年度第 6 回執行役員会を開催致しました。

競走馬弔慰金の査定については、事故対象馬 2 頭について審議、競馬法違反事案に係る再発防止策、平成 28 年度ばんえい競馬開催計画概要、十勝ばんえいクリニックの決算状況等を説明。

この再発防止策が正式に策定された段階で、当協会としても、競馬の公正確保、信用失墜行為防止のために何が出来るのか、理事会でもよく検討して、会員各位に改めてお知らせすることになりました。

十勝ばんえいクリニックの状況については、今後、獣医師確保を前提とする運営に基づく措置を考えていかなければならないため、更にクリニックの経営としても厳しい状況が予想される事から、財務体質の改善等も含め当協会としてもサポート体制を強化するとともに主催者、当協会が緊密に相互連携を図りながら事業を円滑に進めて行くよう検討することとなりました。

また、平成 27 年度の決算見込みの状況について報告。これを踏まえて、新年度平成 28 年度予算編成の考え方と骨子について審議検討致しました。

これに基づき、次回理事会では平成 28 年度の予算案として提案することになりました。

### 【執行役員会議事】

- (1) 競走馬甲慰金の査定について
- (2) 平成 28 年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情回答（未達）
- (3) ばんえい競馬きゅう舎関係者による競馬法違反事案に係る再発防止策
- (4) 平成 28 年度ばんえい競馬開催計画
- (5) 十勝ばんえいクリニック月次決算状況
- (6) 平成 27 年度決算見込み平成 28 年度予算推計について
- (2) その他
  - ① 次回理事会日程調整

## 情報・ご案内

### ○ 鈴木恵介騎手 デビュー18 年目 史上最速2,000勝達成！！

鈴木恵介騎手(39)は、1 月 25 日、第 22 回開催3日目の第 7 レース、サカノチサト号(牝 6 歳、小北 栄一調教師)に騎乗し見事優勝。ばんえい競馬史上 12 人目となる通算 2,000 勝を達成しました。これは、デビューから 18 年目の快挙で、これまでの最短記録(藤本 匠騎手 19 年 10 カ月)を塗り替えました。誠におめでとうございます。

また、記録達成に伴い 1 月 31 日、帯広競馬場のパドック横で通算 2,000 勝達成記念表彰式が行われ、ファン及び関係者が偉業を祝福しました。式では、帯広市の佐藤徹也ばんえい振興室室長から鈴木騎手に表彰状が授与された他、ばんえい十勝調教師会や騎手、馬主、ファンから花束や記念品が贈られました。鈴木騎手は、「3,000 勝目指し頑張る！」とファンに挨拶いたしました。

鈴木 恵介(すずき けいすけ)騎手プロフィール ※2016 年 1 月 25 日(月) 7R 終了時点	
生年月日	1976 年 10 月 7 日(39 歳)
出身地	北海道茅部郡森町
本年度成績	775 戦 130 勝
通算成績	12,615 戦 2,000 勝(うち重賞 50 勝)
初騎乗	1998 年 1 月 10 日(騎乗馬:ブラックワン号)
初勝利	1998 年 1 月 19 日(騎乗馬:ニホンバレ号)
主な重賞優勝(BG1)	2006 年 帯広記念、2007 年 ばんえいダービー、2009 年 天馬賞、2010 年 ばんえいグランプリ、2011 年 ばんえいグランプリ・ばんえいオックス・ばんえいダービー、2012 年 イレネー記念・ばんえい記念、2013 年 天馬賞・ばんえいオックス・ばんえいダービー、2014 年 ばんえいオックス、2015 年 天馬賞・イレネー記念・ばんえいダービー、2016 年 帯広記念・天馬賞 (BG1 18 勝)

### ○ 帯広市産業経済委員会開催 市が再発防止策の概要報告！！ ～意識改革により全ての信用失墜行為未然防止へ 決意表明～

平成 28 年 2 月 9 日帯広市議会の産業経済委員会(鈴木正孝委員長)が開催され、ばんえい競馬のきゅう舎関係者による競馬法違反事案発生を受け、主催者であります帯広市が再発防止策の概要について当該議会に報告致しました。

今回の競馬法違反事案発生は、「きゅう舎関係者の競馬法に関する知識の不足、

競馬法遵守の重要性に対する自覚の欠如」が最大の原因とし、主催者が一方的な指導強化をするのではなく、自らが自らを律することによって、きゅう舎関係者全体で不祥事案を防ぐという強い意志のもと、当事者意識を植え付ける意識改革の視点から未然防止に取り組む考えを表明しました。

意識改革の具体的取り組みについては、新たに主催者及び調教師、騎手の代表からなる組織を設立して、全ての信用失墜行為撲滅を図ります。

また、きゅう舎関係者への規律の厳格化及び監視体制の強化。更にきゅう舎関係者が地域活動に参加するなど、ファンや市民とのコミュニケーションの場を積極的に設ける。として意識改革による再発防止に向け確固たる決意を表明致しました。

注：競馬法違反事案に係る再発防止策については、成案となり次第改めてご案内致します。

## ○ **ばんえい競馬振興連絡協議会 緊急集会招集！！**

### ～関係者約 70 人が信頼回復に向け再発防止を誓う～

平成 28 年 2 月 19 日、ばんえい競馬を支援する地元経済人や馬主などをつくる「ばんえい競馬振興連絡協議会」は、今回の不祥事案発生を受け、調教師、騎手約 70 人を含む緊急集会を招集しました。参加した関係者が再発防止を誓い、信頼回復に向け全力で取り組む決意を示しました。

当該協議会の川田章博会長(帯広商工会議所副会頭)は、2007 年のばんえい競馬存廃の経緯を取り上げ「薄氷の思いで帯広単独開催を実現した。馬主は採算を度外視しているし、民間もボランティアでイベントを開催するなどして、ばんえい競馬を盛り上げている。そうした思いを思い出してほしい。今ではその当時の危機感が無くなっている。再び事件を起こせばもう社会に支持されない。」と訴えた。また、調教師に対し、「きゅう務員の指導や監督責任など、今回の不祥事案は調教師に大きな責任がある。」と指摘。意識改革を求めました。

これに対し、ばんえい十勝調教師会の坂本東一副会長は、「今後二度とこうしたことが起きぬよう、市と連携して取り組む。」と再発防止を決意。ばんえい十勝騎手会の山本正彦会長は、「ファンの皆様にご迷惑をお掛けしました。心よりお詫び申し上げます。」と反省の意を表し「二度とこのようなことが起きないように全力で取り組む。」と誓いました。

## ○ **地方競馬全国協会 新馬登録申請頭数 昨年度よりも微増！！**

### ～2 月末現在 252 頭申請(去年同期 236 頭)～

地方競馬全国協会で行う新馬登録申請について、第 1 回能力検査を受検する馬については、先日、2 月末日で締め切りました。今年度の申請数は 252 頭で、昨年の 236 頭、一昨年の 199 頭を上回り微増傾向が続いています。

また、先にご案内のとおり、今回申請した馬については、今月 3 月 9 日(水)、10 日(木)ないし 3 月 23 日(水)、24 日(木)に登録検査を行ないます。

なお、当該検査日については、混雑を避けるため、調教師毎に検査日及び時間帯区分が指定されておりますので、あらかじめ、預託予定の調教師にご確認ください。

また、下記のとおり、馬登録検査時の注意事項を再度ご確認ください。

■【登録検査時の注意事項】

- ① 検査当日は、混雑も予想されますので、順番等については検査員の指示に従ってください。
- ② 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ③ 検査時は、必ず馬に轡(くつわ)を装着してください。
- ④ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ⑤ 検査当日、現地(競馬場)での申請受付は一切いたしません。
- ⑥ 検査当日、競馬場に入りゅうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン(所定の間隔で実施)の証明書を携行してください。

以上、あらかじめ調教師とよく相談して登録検査を受けてください。

○ **帯広開催 10 年目 平成 28 年度『ばんえい十勝』開催日程決まる!!**  
**～4 月 22 日(金)ナイターによる開幕 26 開催 152 日間計画～**

平成 28 年度は、帯広市の単独開催となり節目の 10 年目。

帯広市は、単独開催 10 年目を迎えることから、新たなファン層の獲得は勿論、イベント等を通じて、ばんえい競馬ファンをはじめとする来場者のサービスを充実する。

開催日程は、毎週土、日、月曜日開催を基本とし、ナイター 94 日間、準ナイター 17 日間、来年お正月三が日はデイ開催で 3 日間、その後、薄暮開催 38 日間の計 152 日を計画しております。

■【平成 28 年度開催日程の概要(計画)】

- ・平成 28 年 4 月 22 日(金)～平成 28 年 11 月 21 日(月)  
【ナイター開催(最終レース 20:40 発走予定)】 94 日間
- ・平成 28 年 11 月 26 日(土)～平成 28 年 12 月 29 日(木)  
【ナイター開催(最終レース 19:40 発走予定)】 17 日間
- ・平成 29 年 1 月 1 日(日)～平成 29 年 1 月 3 日(火)  
【デイ開催(最終レース 17:40 発走予定)】 3 日間
- ・平成 29 年 1 月 4 日(水)～平成 29 年 3 月 27 日(月)  
【薄暮開催(最終レース 18:40 発走予定)】 38 日間

※ 詳しくは、別紙「平成 28 年度ばんえい十勝開催日程」をご覧ください。なお、開催日程は、年度途中に於いて変更する場合がありますので、ご了承ください。

○ **平成 28 年度“能力検査基準及び検査日程”発表!!**  
**～第 1 回能力検査平成 28 年 4 月 10 日(日)実施予定～**

帯広市は、平成 28 年度の能力検査について、合格基準タイム、競走換算タイム等を別紙により発表しました。

合格基準タイムについては、馬場水分 1.0%の状態 で 4 分(4:00.0)を合格基準とする。競走換算タイムは、水分 0.1%につき 1 秒を競走タイムに加減する。

ただし、水分 0.5%未満および 4.0%を超えた場合は、それ以上の水分換算は

行わない。

注：能力検査基準についての詳細は、別紙「●平成 28 年度能力検査について」をご参照ください。

また、能力検査日程については、次のとおり予定されております。

- 第 1 回 平成 28 年 4 月 10 日 (日)
- 第 2 回 平成 28 年 4 月 29 日 (祝金)
- 第 3 回 平成 28 年 5 月 13 日 (金)
- 第 4 回 平成 28 年 5 月 27 日 (金)
- 第 5 回 平成 28 年 6 月 10 日 (金)
- 第 6 回 平成 28 年 6 月 24 日 (金)
- 第 7 回 平成 28 年 7 月 8 日 (金)
- 第 8 回 平成 28 年 7 月 22 日 (金)
- 第 9 回 平成 28 年 8 月 5 日 (金)
- 第 10 回 平成 28 年 8 月 19 日 (金)

注：その他行事等詳細につきましては、別紙「平成 28 年度ばんえい競馬 諸行事及び開催日程」をご確認ください。

## ○ 平成 28 年 4 月 11 日(月)帯広競馬場内で臨時市場開設予定！！

当協会では、例年、第1回能力検査の翌日に帯広競馬場内で臨時市場を開設しております。平成 28 年度は、今般、第1回能力検査の日程が帯広市から示されたので、これに併せて、その翌日の平成 28 年 4 月 11 日(月)に競馬場内で市場開設を予定しております。

近年、馬の売買取引価格は値上がり傾向にあり、昨年の当該市場では、16 頭出場のうち 12 頭が成立しました。取引価格は、最高額が 1,414,800 円で平均 1,139,400 円でした。

馬主各位におかれましては、馬の売買に当たり相対取引ではなく、何卒、当該市場をご利用くださいますようお願い致します。

なお、当該市場に関する詳細につきましては、当協会事務局か各調教師にお問い合わせください。

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
1 月 24 日	第 26 回 ヒロインズカップ	ナナノチカラ	赤磨 秀人	小北 栄一
2 月 14 日	第 41 回 黒ユリ賞	ブルーオーシャン	高柳 稔	松井 浩文
2 月 28 日	第 37 回 チャンピオンカップ	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人

**優勝おめでとうございます！！**

#### ◆ 第26回ヒロインズカップ（4歳以上牝馬オープン）

単勝2番人気のナナノチカラが優勝。昨シーズンのポプラ賞以来となる重賞5勝目を挙げ、牝馬重賞全制覇を成し遂げました。

天馬賞で同世代の牡馬を一蹴したキサラククが1.8倍の1番人気。6歳のナナノチカラ、セイコクインがともに4倍台で続き、780キロを課せられた3頭に人気が集。馬場水分2.1%のなか、女王の座をかけた戦いがスタートしました。

道中はゆったりとしたペースで、各馬ほぼ横一線。わずかにアアモンドセブン、アアモンドマツカゼが先頭で障害下にたどり着いたものの、他馬も差なく続いて勝負どころを迎えました。

最初に仕掛けたのはアアモンドセブンとセイコクイン。ひと呼吸入れてからアアモンドマツカゼが動き、さらにセンゴクイチも障害に挑みます。どの馬も決定力を欠く中、アアモンドマツカゼがようやく突破。そして、じっくりとためていたナナノチカラがひと腰でクリアし、追撃態勢に入ります。さらに遅れてセンゴクイチ、マゴコロが障害を登り切り、勝負は最後の平坦路に持ち込まれました。

ここで抜群の末脚を發揮したのがナナノチカラ。残り30メートル付近でアアモンドマツカゼを捉え、小気味よいピッチを刻んでゴールを目指します。アアモンドマツカゼもしぶとく食い下がりますが、いったん許した半馬身程度の差を詰めることができません。そのままの態勢でゴールを迎え、ナナノチカラが牝馬の頂点に君臨しました。アアモンドマツカゼから8秒遅れた3着にはセンゴクイチが流れ込み、0秒5差の4着にマゴコロが入線。第2障害を5番手で突破したキサラククは、しまいに良く脚を伸ばしたものの、結局5着止まりでした。

トップハンデを背負いながらも、しまいまでジワジワと脚を伸ばしたナナノチカラ。障害を難なく突破したレースぶりも良く、いかにも軌道に乗ってきた印象です。黒ユリ賞、ばんえいオークス、クインカップに続く今回の勝利で、ばんえいの牝馬重賞を完全制覇。今のデキなら今後、牡馬が相手でも好勝負が期待できるでしょう。

アアモンドマツカゼは10キロの斤量差が味方したのもありますが、それを割り引いても優秀な内容。牡馬相手でも重量や展開次第でチャンスがありそうです。

#### ◆ 第41回黒ユリ賞（3歳牝馬オープン）

単勝2番人気のブルーオーシャンが優勝。この世代最初の牝馬重賞を制し、存在をアピールしました。

2歳牝馬戦とはいえ、A級からC級までそろっての定量戦。やはり実績のあるA級馬に人気が集まり、グレースゴールドが2.1倍の1番人気で、ブルーオーシャンが4.5倍で続き、イレマルビリーヴが4.9倍の3番人気。これら実績馬が力を見せつけるのか、それとも波乱の決着になるのか。馬場水分3.4%と軽めの馬場で、注目のスタートが切られました。

道中はブルーオーシャン、グレースゴールド、アンビシャスあたりが先行しますが、各馬遅れず追走し、ほぼ横一線で推移します。障害中間点を越えてから、むしろピッチが上がった印象でしたが、リアンを除く9頭は並んだままで第2障害下にたどり着きました。

一瞬だけ息を入れてイレマルビリーヴが登坂を開始すると、即座にアンビシャスも反応。そして他馬もいっせいに仕掛けはじめます。それでもイレマルビリーヴはしっかりとした脚どりを見せ、先頭で障害を突破。やや遅れてブルーオーシャンとタナボタチャンがクリアし、セイリュウヒメ、グレースゴールド、タカラファミリーなども圏内で障害を下りていきました。

先頭に行くイレマルビリーヴは若干脚いろが鈍り、残り30メートル付近でブルーオーシャンが先頭へ。タナボタチャンもイレマルビリーヴをかわして2番手に浮上します。先頭に立ったブルーオーシャンは安定した脚どりで歩を進め、残り10メートルを切った時点でほぼセーフティーリード。そのまま先頭で荷物を運び切りました。5秒3差の2着にタナボタチャン。さらに2秒6差で、イレマルビリーヴが3着入線を果たしました。

障害を越えてからの確かな脚どりが印象的だったブルーオーシャン。A-1で好勝負を演



じてきた実績はダテではなく、結果的に牝馬同士なら一枚上の力がありました。昨年のこのレースを制したシリウス(ばんえい大賞典勝ち)のように、牝馬相手の重賞でも活躍を期待したいと思います。

2着のタナボタチャンもジワジワと脚を伸ばし、上々のレース運びを見せました。相手なりの面もありそうですが、それだけに大舞台でも好走する可能性を秘めています。今後も注目が必要でしょう。

#### ◆ 第37回チャンピオンカップ(4歳以上重賞競走優勝馬)

単勝1番人気のオレノココロが優勝。昨年に続く連覇を果たし、頂点奪取へ向け、さらに前進しました。

トップハンデ830キロのオレノココロとフジダイビクトリーが、その実力を買われて1、2番人気。主にハンデを課された馬が上位人気に推されましたが、そうしたなかで790キロのナノチカラが4番人気に推され、重量がどう作用するか、注目を集めました。

馬場水分1.8%でスタート。この時期にしては軽めの800キロ前後の重量ですが、道中は各馬とも刻みながらゆったり運びます。フジダイビクトリー、キタノタイショウ、オレノココロあたりが先行し、コウシュハウンカイもこの一角。オイドンもつかず離れず追走し、有力どころが固まったまま、第2障害を迎えました。

じっくりためたのち、フジダイビクトリーが登坂を開始。それを見て、コウシュハウンカイとオレノココロも仕掛けます。この3頭が切れのある登坂を見せ、横並びで第2障害を突破。少し離れてキタノタイショウもクリアし、以下フェアリードール、オイドンと続きます。

先頭を行く3頭からフジダイビクトリーが後退し、最後の平坦路はオレノココロとコウシュハウンカイのマッチレース。ただ、それも残り20メートル付近までで、オレノココロがスピードを見せつけて1馬身ほど抜け出し、そのまま先頭で荷物を運び切りました。残り10メートルあたりで3番手に上がったキタノタイショウが3着で入線しました。

勝ったオレノココロは、ばんえい十勝オッズパーク杯、ドリームエイジカップ、帯広記念に続く、今季重賞4勝目。昨年のこのレースは最低人気での勝利でしたが、今回は1番人気に応えるかたち勝利し、1年間の成長と充実ぶりを見せつけました。明けて6歳と若いぶん、さらなる成長も望めそう。さらなる活躍を期待したいと思います。

2着のコウシュハウンカイは勝ち馬のスピードに屈したかたちですが、この馬もまだ6歳。もう一段のパワーアップが期待でき、オレノココロとともに今後のばんえいを牽引する存在となってくれることでしょう。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。